

伝統文化体験学習を実施しました(11月20日)

11月20日(木)、生徒たちはクラスごとに 着付け・からくり屏風づくり・ガラス加工・陶芸・飴細工の5つの伝統文化を体験しました。

各体験の概要

・ 着付け

着物の着付けを学び、浅草周辺を散策しながら日本の歴史に触れました。

・ からくり屏風づくり

開き方で絵柄が変わる「からくり屏風」を制作し、職人の技と工夫を学びました。

・ ガラス加工(サンドブラスト)

コップの表面を削って模様を入れ、自分だけのデザインを表現しました。

・ 陶芸体験

ろくろを使い器づくりに挑戦。笠間焼の職人技を肌で感じました。

・ 飴細工体験

大道芸としての一面を持つ飴細工で、職人の話を聞きながらウサギの飴づくりに挑戦しました。

どの体験でも、生徒たちは 茨城・日本で受け継がれてきた文化や仕事の魅力 に触れ、楽しく学びながら、将来の生き方や文化との関わり方を考える貴重な機会となりました。

生徒の感想(抜粋)

- 「からくり屏風の仕組みに驚いた。葛飾北斎のゆかりの地が墨田区だと知って印象に残った。」
- 「みんなで屏風を作るのが楽しく、初めて見る工程にびっくりした。」
- 「サンドブラストで細かい部分を切り抜くのが難しかったけれど、達成感があった。」
- 「自分のデザインしたイラストをコップに表現できて嬉しい。」
- 「陶芸は形を整えるのが難しかったが、優しく教えていただき楽しい体験だった。」
- 「飴細工は熱さと形づくりが大変だったが、練習を重ねて上手に作れるようになった。」

